

第2回岩手県光学機械器具・レンズ、時計・同部分品製造業 最低賃金専門部会議事要旨

岩手労働局

令和7年10月30日午後1時23分～午後3時33分

主な審議事項 公開・**非公開**

- 1 関係労使参考人からの意見聴取について
- 2 金額審議
- 3 その他

出席状況

公益

3 / 3

労側

3 / 3

使側

3 / 3

審議要旨

- 1 関係労使参考人からの意見聴取について

関係労働者参考人及び関係使用者参考人から提出された「参考人意見書」について、事務局から読み上げられた。

- 2 金額審議

【労働者側の基本的な考え方、金額提示及び根拠】

地域別最低賃金が大幅に引き上げられ、経営者にとって厳しいことは理解できるが、賃金の魅力がないと人材確保も難しいと考える。光学機械器具・レンズ、時計・同部分品製造業は細かい作業や特殊な技能を必要としており、産業の優位性が確保することで、企業としての魅力も増すものとする。

地域別最低賃金に対して産業の優位性を担保するため、地域別最低賃金に110%上乗せした1,134円、149円の引上げを提示。

【使用者側の基本的な考え方、金額提示及び根拠】

原材料の高騰など、懸念材料が多い中、今回の大幅な地域別最低賃金の引上げは企業として大変な状況である。特に中小企業・小規模事業者への配慮が必要であり、経営に悪影響を及ぼすことがないようにする金額にしなければならないと考える。

金額の提示については、令和7年賃金改定状況調査結果「第4表 一般労働者及びパートタイム労働者の賃金上昇率」、製造業の男女計のCランク3%で計算すると、1,015円にしかならず地域別最低賃金に達しないことから、地域別最低賃金より高い金額で設定とするとすれば、地域別最低賃金を1円上回る1,032円、47円引上げを提示。

【審議経過】

労使の主張に対する審議が進められ、労働者側からは2回目の金額提示はなされず、使用者側から検討する時間が必要との申出があり、次回の専門部会に金額を提示することとなった。

- 3 その他

特になし。

次回開催日

会議名 令和7年度第3回岩手県光学機械器具・レンズ、時計・同部分品製造業最低賃金専門部会
日時 11月11日午前9時30分
場所 盛岡第2合同庁舎3階共用会議室